

平成30年度 晴海中学校 外部評価報告書
評価委員：渡真利善 清水大蔵 若狭栄一 滝浪誠 石田敦浩 木皿儀孝子 西啓三 庄司一也 山口啓朗 萩原裕子
評価時期 平成31年3月
<p>1 重点目標の評価</p> <p>重点目標1 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけ、学習意欲を高め、確かな学力の定着を目指す。</p> <p>(1) 確かな学力、つまり分かる授業を展開するには、互いの授業を評価し改善することがとても大切です。日々の系統的な授業研究の実践をこれからも続けてほしい。各種の検定取得が昨年と比べ少なくなっているのが、やや気になる。</p> <p>(2) 苦手な教科の克服をしようとする意欲をどのように引き出していくかが、今後の課題だと思う。</p> <p>重点目標2 表現力の向上を図り、学んだことを学習や生活に生かす。</p> <p>(1) 研究指定校として日々の教育活動を通して表現力を高める取組が成果を上げたと思う。教科での言語活動の表現力、体験的な表現力、あいさつ、文化的活動などでの挑戦する場の提供をより多く取り入れることにより、さらに自己表現力が期待される。</p> <p>(2) 部活動、体験的な学習等で身に付けたものを日常の生活に生かして欲しい。</p> <p>重点目標3 学習環境を整え、心のふれあいを通して活気に溢れ、豊かな心と健やかな心身を育み、「共生」、「博愛」の精神を育てる。</p> <p>(1) 落ち着いた環境の中で教育活動が実践されていることは、教職員は元よりPTA、地域の理解、支えが極めて大である。小中連携、地域連携をさらに深め、心豊かで健やかな生徒の育成に期する。</p> <p>(2) 「共生」「博愛」の精神を生かして、今後の人生の指針にして欲しい。</p> <p>(3) 複雑化する社会、多様化する価値観の中で、身近なロールモデルとして先生方に御指導をお願いしたい。</p> <p>2 今後の改善に向けた意見</p> <p>(1) 学習指導では、これまで実践された研究内容、課題を常に見直し、日々の授業改善に努める。</p> <p>(2) 通年を通して体力の向上を意識できる取組が、体育の授業と連携してできると良いと思います。例えば、学期1回長距離走を計測して、タイムが良い生徒や伸びた生徒を表彰するなどがあると良い。</p> <p>(3) 生徒は年々入れ替わるため年度ごとの比較は難しいですが、重点目標3に関して、自己評価および生徒・保護者評価がより向上していくように取り組んで頂ければと</p>

思います。

3 その他の意見

- (1) 道徳、特別活動において、あいさつや礼範の充実、四季折々の草花の緑化運動をさらに推進してほしい。
- (2) 自己肯定感というのは、子どもたちにももちろん大切ですが、そこで働く先生方にも「自分はここにいていいんだ。これでいいんだ」という気持ちをもて頂くことが、勤労意欲の面でもとても大切だと思います。今回先生方、生徒、保護者という晴海中に関わる3本柱が自己肯定感において概ね肯定的だったというのは、晴海中が、とても安定していることだと思います。このサイクルが維持できますよう、それぞれが連携し力を付けていけば今後の晴海中もとても安心です。これからも裏方として支えていきたいと思っています。
- (3) かねてより申し上げていることですが、先生方のライフワークバランスの向上を目指し、業務のスクラップ&ビルド及び効率化に努めてほしいと思います。

* 3月に各学校のホームページで公表していきます。